

ALP

## アクティブ・ラーニング 支援パターン カード



CreativeShift

### アクティブ・ラーニング支援パターン・カード (ALP= Active Learning Pattern card)

Ver. 1.0 2019年12月発行

- アクティブ・ラーニング・支援パターン・カード  
セットに含まれるもの
  - ・表紙/パターンリスト 1枚
  - ・パターン・カード 45枚
  - ・実践レベルカード 3枚
  - ・取り入れたいカード 1枚
  - ・取り扱い説明書(本紙)

- アクティブ・ラーニング支援パターン・カードとは
  - ・本作は、株式会社クリエイティブシフトと株式会社ベネッセコーポレーションにより共同開発された、主体的な学びを引き出すコツをまとめた「アクティブ・ラーニング支援パターン」のカード版です。
  - ・ベネッセコーポレーションからは、「アクティブ・ラーニング・パターン《教師編》」(2017年8月発行)という名称で提供されていますが、内容は同じものです。

### アクティブ・ラーニング支援パターン カード(ALPカード)とは

アクティブ・ラーニング支援パターンは、生徒・子どもが主体的に学ぶ力を引き出す教え方のコツが書かれたカードです。

アクティブ・ラーニングを支援するヒントは全部で45個あり、1枚のカードごとに1つのヒントが書かれています。それぞれのヒントは、「こういときには・こういう問題が起こりやすいけれど・こうするとうまくできます」という3つの要素で示されています。

それぞれのヒントは少し抽象的に示されていて、具体的な行動を指示するものではありません。それは、様々な状況・人に共通すること、つまり本質だけを取り出しているためです。書いてあることを読み、「自分の今の状況なら、どうしたらいいだろうか」とヒントと自分を結びつけながら具体的な行動を考え、実際にやってみてください。同じヒントからであっても、多種多様な行動を生み出すことができます。逆に言うと、唯一の正解というものはありませんので、自分が思いついたことをどんどん試してみると良いでしょう。

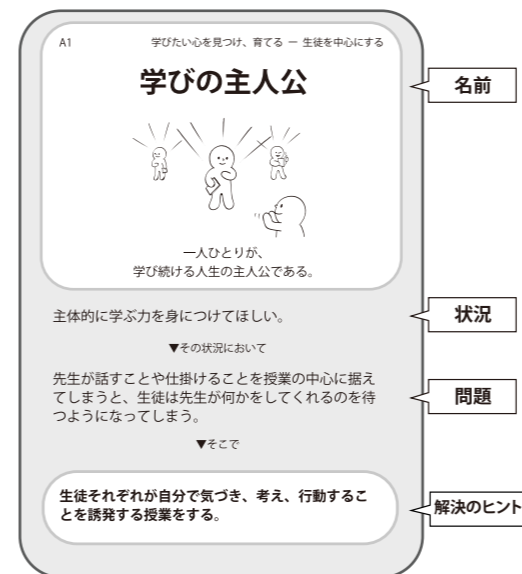
本カードは、アクティブ・ラーニング(Active Learning)を支援するパターン・ランゲージ(Pattern language)のため、通称「ALP」と呼ばれています。

これからの複雑で流動的な世界を生きていくためには、子どもたちは自分自身で主体的に学び続ける力を身につける必要があると言われてしています。

学校での教育のみならず、親として子どもを育てる際にも共通するものですので、子どもたちがいきいきと学び、豊かな知恵を手に行けるよう、ぜひ本カードをご活用ください。

### カードの見方

「パターン・ランゲージ」は、良い実践のコツを共有するため、“上手な人”から抽出した工夫や経験則を、「言葉」として示す方法です。カードの上部に書いてある「名前」(コツの名前)を新しいボキャブラリーとして覚え、使ってみてください。言葉は、思考の道具ですから、探究について考えたり、会話したりする際にこれらの言葉を使うことで、次第にコツを習得していくことができます。



パターン・ランゲージでは、ひとつのコツ(1枚のカード)は「パターン」と呼びます。良い実践・実例の中に繰り返し出てくる現象を、成功の「型(パターン)」にとらえるためです。パターンは、それぞれ上記の例のように、ある「状況」において起こりやすい「問題」と、それを乗り越えるための「解決のヒント」という3つのパーツ、そして、その考え方を示す「名前」の4つで、一つのヒントを紹介します。「解決のヒント」を参考にしながら、自分に合った具体的な実践方法を見つけてみてください。

### ALPカード一覧

#### A 学びたい心を見つけ、育てる

- |             |                |
|-------------|----------------|
| A1 学びの主人公   | A10 グッド&ベター    |
| A2 同じ側に立つ   | A11 視点のアップグレード |
| A3 未来への広がり  | A12 つながる感動     |
| A4 おしゃべりの関係 | A13 全体のなかの位置づけ |
| A5 なじみのチーム  | A14 意図の共有      |
| A6 自然な動き    | A15 夢への対話      |

- A7 心が動くこと
- A8 好きの深掘り
- A9 考えの可視化

#### B 一段上へ引き上げる

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| B1 学び方を学ぶ    | B10 挑戦への着火         |
| B2 疑問をもつ力    | B11 晴れ舞台をつくる       |
| B3 達成への粘り    | B12 超えるべきライン       |
| B4 楽しい入口     | B13 自分で決める経験       |
| B5 とっつきやすい課題 | B14 成長への糧          |
| B6 いろんな参加    | B15 リフレクション・ダイアローグ |

- B7 探究の道具
- B8 概念の体験
- B9 ポジティブなもやもや

#### C ともに高めあい、変わり続ける

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| C1 学び続ける教師 | C10 場を変える       |
| C2 世界への接点  | C11 想定外の取り込み    |
| C3 自分なりの哲学 | C12 学びの編集者      |
| C4 余裕をつくる  | C13 ケーススタディ・カフェ |
| C5 自分のワクワク | C14 教科間コラボ      |
| C6 まずやってみる | C15 個性の集まり      |

- C7 その場でのアレンジ
- C8 技のストック
- C9 一緒に改善



## カードの使い方(例)

### I. 経験や工夫を話し合い、学び合う

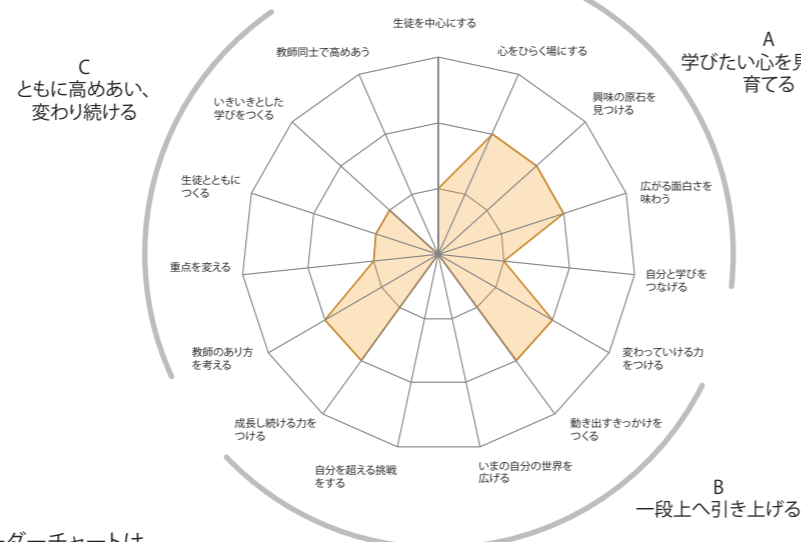
- ①教師や職員の方3~6人程度でテーブルを囲んで座り、パターン・カード45枚を用意します。
- ②誰かがトランプを切る要領でシャッフルし、1人あたり4~5枚を配ります。残りのカードは裏面が上になるように、テーブルの真ん中に置きます。
- ③参加者は配られたカードを手を持って、その内容をざっと黙読し、手持ちのカードのなかから自分に経験があるものを選んで、1人ずつ順にその内容をみんなに見せながら、自分の経験談や実践例を語ります。  
※手持ちのカードのなかに経験したことがあるものがなくなった場合には、テーブルの残りの山から1枚引いて、補充してください。
- ④2~3周したら、あまり実践していないカードが手元に残っているはず。今度は、手元に残ったもののなかで、自分が取り入れてみたい、他の人に聞いてみたいカードを選んで、それを実践したことがある人がいるかどうか聞いてみましょう。

### II. 現状を把握し、アイデアを出し合う

- ①同じ教科や同じ学年の教師・職員で集まり、45枚のパターン・カードと、3色(緑・水色・ピンク)の「実践レベルカード」と黄色の「取り入れたいカード」を用意します。
- ②まず、3色の「実践レベルカード」を、少し離してテーブルに置きます。次に、パターン・カードを1枚ずつ読みながら、内容を実践しているかを考え、該当する「実践レベルカード」のまわりに分類していきます。
- ③次に黄色の「取り入れたいカード」をテーブルに置きます。②で「少し実践している」「実践していない」に分類したカードのなかから、今後、自分たちで実践していきたいものを「取り入れたいカード」の方へ移動します。
- ④「取り入れたいカード」の方へ移動したもののなかから、特にチャレンジしたいものを参加者で相談して1~数枚決め、ブレインストーミングの要領で、どのように実践できるかどンドンアイデアを出し合います。できたアイデアをひとつずつ付箋に書いていくと良いでしょう。

\*もし、一度に45枚のカードを扱うのが難しい場合には、1カテゴリーが15枚ずつなので、1カテゴリーずつ順番に行っていくと良いでしょう。

ALP 経験チャート



表とレーダーチャートは <http://creativeshift.co.jp/download/ALP-list> にて、ダウンロードしてください。

## カードの使い方(例2)

自分(たち)の「ALP」の実践の現状にどのような傾向があるかを捉え、その理由を考えたり、今後伸ばしたい方向性を見つけたりしましょう。

- ①カードを読んで、日頃実践しているものは、「実践チェック」欄に○をつけます。
- ②グループごとに○の数を足して、「グループの合計ポイント」欄に数字を書きます。
- ③グループごとの点数を元に、左下のレーダーチャートを作成し、傾向を読み解きます。

カテゴリー	グループ	ALP	実践チェック ○	グループの 合計ポイント 0~3
A 学びたい心を見つけ、 育てる	生徒を中心にする	A1 学びの主人公		
		A2 同じ側に立つ		
		A3 未来への広がり		
	心をはりく場にする	A4 おしゃべりの関係		
		A5 なじみのチーム		
		A6 自然な動き		
	興味の原石を見つける	A7 心が動くこと		
		A8 好きの深掘り		
		A9 考えの可視化		
	広がる面白さを味わう	A10 グッド&ベター		
		A11 視点のアップグレード		
		A12 つながる感動		
	自分と学びをつなげる	A13 全体のなかの位置づけ		
		A14 意図の共有		
		A15 夢への対話		
B 一段上へ引き上げる	変わっていきける力をつける	B1 学び方を学ぶ		
		B2 疑問をもつ力		
		B3 達成への粘り		
	動き出すきっかけをつくる	B4 楽しい入口		
		B5 とつきやすい課題		
		B6 いろんな参加		
	いまの自分の世界を広げる	B7 探究の道具		
		B8 概念の体験		
		B9 ポジティブなもやもや		
	自分を超越る挑戦をする	B10 挑戦への着火		
		B11 晴れ舞台をつくる		
		B12 超えるべきライン		
	成長し続ける力をつける	B13 自分で決める経験		
		B14 成長への糧		
		B15 リフレクション・ダイアログ		
C ともに高めあい、 変わり続ける	教師のあり方を考える	C1 学び続ける教師		
		C2 世界への接点		
		C3 自分なりの哲学		
	重点を変える	C4 余裕をつくる		
		C5 自分のワクワク		
		C6 まずやってみる		
	生徒とともにつくる	C7 その場でのアレンジ		
		C8 技のストック		
		C9 一緒に改善		
	いきいきとした学びをつくる	C10 場を変える		
		C11 想定外の取り込み		
		C12 学びの編集者		
	教師同士で高めあう	C13 ケーススタディ・カフェ		
		C14 教科間コラボ		
		C15 個性の集まり		